趣　意　書

　昨今の日本農業は、グローバル化の進展に伴い、農産物の輸出をはじめとした競争力の強化が求められています。また、安全・安心な食料の安定的な供給や、環境保全等を考慮した持続可能な社会の創造に寄与する人材の役割が重要となっています。

このような中、将来の農業の担い手及び関連産業等で活躍することを志し、農業関連の高等学校に進まれたことに感謝と敬意を表します。

　さて、皆さんは入学とともに、日本学校農業クラブ連盟のクラブ員として学習することとなります。日本学校農業クラブ連盟（ＦＦＪ：Future Farmers of Japan）は、1950年（昭和25年）、全国47都道府県の農業教育を主とする学科で学ぶすべての生徒・教職員により、「科学性」「社会性」「指導性」の育成を目標に、日本全国の組織として結成されました。これらに係る全国大会は、毎年、各ブロックの持ち回りで開催されているところです。

このたび、東北ブロックでお引き受けした令和６年度開催の「第75回日本学校農業クラブ全国大会」は、岩手県学校農業クラブ連盟が大会運営を担当することとなりました。

　ついては、大会の開催に当たり、日本学校農業クラブ連盟からの助成や企業等からの協賛を募りながら実効性のある運営となるよう心掛け、将来の農業を担う全国の高校生たちにとってよりよい大会となるよう努めて参る所存です。

2011年3月11日、東日本大震災津波により本県も甚大な被害をうけ、震災直後から全国の皆様から温かいご支援をいただきました。復興への道を歩んできた本県で開催される本大会は、約1,300名のクラブ員が全国の皆様への感謝とおもてなしの心を持って準備と運営に努めて参ります。

　出費多端なところではありますが、本大会の趣旨をご理解いただき、成功に向けて下記のとおりご協力をいただきたく、ご依頼申し上げます。

|  |
| --- |
| １ 項目　　第75回日本学校農業クラブ全国大会令和６年度岩手大会東北ブロック負担金  ２ 金額　　クラブ員一人あたり1,000円（在学時１回のみ、学校徴収金として納入）  ３ 対象　　東北６県の農業関係高等学校、関連学科  　令和４年度入学生、令和５年度入学生、令和６年度入学生 |

令和６年１月

　　　　　　　　　　　　　令和５年度全国農業高等学校長協会

東北支部長　福島県立福島明成高等学校長　　　　安　田　修　久

　　理事　青森県立三本木農業恵拓高等学校長　中　村　　　豊

　　　　　　　　　　　　　　　　理事　岩手県立盛岡農業高等学校長　　　　菊　池　郁　聡

　　　　　　　　　　　　　　　　理事　宮城県農業高等学校長　　　　　　　阿　部　幸　弘

　　　　　　　　　　　　　　　　理事　秋田県立大曲農業高等学校長　　　　渡　辺　　　勉

　　　　　　　　　　　　　　　　理事　山形県立村山産業高等学校長　　　　伊　藤　久　敏

　　　　　　　　　　　　　　令和５年度日本学校農業クラブ東北連盟

　　　　　　　　　　　　　　　成人代表　岩手県立盛岡農業高等学校長　　　菊　池　郁　聡